

(別添 3)

【利府町】
校務 D X 計画

1. 校務 D X の推進に係る現状と課題

【現状】

「G I G A スクール構想の下での校務 D X チェックリスト」(令和 6 年度文科省)による自己点検の結果、一部業務についてはクラウドツール等を利用した業務改革を行えていることが分かった。現在、クラウドツールとして「Google Workspace for Education」を利用しており、教育委員会と学校の情報共有を主として、可能なものから文書のやり取りを本ツールで実施している。また、簡易的な文書の共有については電子メールを活用している。

【課題】

電子メールやクラウドツールを活用する機会が多くなっているものの、慣習等により F A X 利用をしている業務や、規定により押印を求める書類がある。

2. 校務 D X の推進のための課題解決

順次、押印を求める書類の規定の見直しを行い、可能なところから電子メールやクラウドツールの活用を推進する。また、緊急時を除いた情報共有ツールとしての F A X 利用の見直しを行い、校務の効率化やペーパーレス化についても推進する。

3. 校務支援システムの整備について

令和 6 年 9 月より統合型校務支援システムを導入し、全ての教員の P C に整備している。このことにより、名簿作成や成績処理など、より効率的に業務を行うことが可能となる。今回のシステム更新はオンプレミスで実施をしたため、次回更新時はクラウド化へ向けて検討を重ねる。